

学校番号	404
------	-----

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「現代の国語」(数研出版)						
副教材等	図でつかむリード現代文(啓隆社)、未来をひらく常用漢字(桐原書店)、高校生必修語彙ノート(桐原書店)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。</li> <li>・ICT機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。</li> <li>・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。</li> <li>・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。</li> <li>・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。</li> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> </ul>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	社会と文化	a: 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]: 目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討している。 c: テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] ズームアップ 文化				
	社会と文化	a: 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[読]: 目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c: 二つの文章において筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] コミュニケーション能力とは何か				
	実用の文章4	a: 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[話/聞]: 目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討している。 c: 文章と資料が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	[教材] コミュニケーションの手段を考える				
	新しい視点	a: 推論の仕方を理解し使っている。 b[読]: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] ポスト・プライバシー				
対比する	a: 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]: 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c: 筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート	
[教材] デジタルメディア時代の複製					
	言語技術の実践1	a: 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]: 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にまとめている。 c: 調査内容の整理とともに課題を粘り強く検討し、レポートの形式に沿って自分の意見を明確に示そうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	[教材] レポート				

※令和4年度以降入学生用

2 学 期	言語技術の実践2	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]:話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c:相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	発表 振り返りシート
	[教材] プレゼンテーション				
	社会と文化	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 水の東西				
	ことばの働き	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]:自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫している。 c:テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] ズームアップ どこにも蝶などいない-言語論入門-				
2 学 期	環境と科学	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 科学コミュニケーション				
	賛否を述べる	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]:意図に応じて書かれているかを確認かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
[教材] 命は誰のものなのか					
3 学 期	人間と時間	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 時間と自由の関係について				

※令和4年度以降入学生用

認識の枠組み	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
[教材] 他者を理解すること				
認識の枠組み	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]:論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c: 論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
[教材] ズームアップ 自己と他者の理解とは				
意見を述べる	a:引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている b[書]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
[教材] 無痛化する社会のゆくえ				

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話/聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと/聞くこと … ( 30 ) 時間
- ・書くこと … ( 25 ) 時間
- ・読むこと … ( 20 ) 時間

学校番号	404
------	-----

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「言語文化」 (数研出版)						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)、新明説総合古典文法 (尚文出版)、新明説総合古典文法基本練習ノート (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。</li> <li>・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。</li> <li>・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。</li> <li>・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。</li> <li>・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。</li> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</li> <li>・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>
---

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	説話	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c: 積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	[教材] 児のそら寝(宇治拾遺物語)		定期考査	定期考査	振り返りシート
	随筆(一)	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]: 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	[教材] 丹波に出雲といふ所あり(徒然草)		定期考査	定期考査	振り返りシート
	近代小説(一)	a: 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]: 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
[教材] 羅生門	定期考査		定期考査	振り返りシート	
2 学期	和歌	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]: 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	[教材] 古今和歌集		定期考査	定期考査	振り返りシート
	和歌	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]: 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c: 積極的に古典和歌と自分の体験とを結びつけ、学習課題に沿って本歌取りの短歌を創作しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	[教材] 新古今和歌集		定期考査	定期考査	振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

	歌物語	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] あづさ弓(伊勢物語)	b[書]: 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c: 積極的に古文を自分に引きつけて想像を働かせ、学習課題に沿って現代語の物語に書き換えようとしている。			
	俳諧紀行	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 序・平泉(おくのほそ道)	b[読]: 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト		
	軍記物語	a: 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 祇園精舎(平家物語)	b[読]: 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c: 積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。	小テスト		
	史伝	a: 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 先従隗始	b[読]: 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	小テスト		
	漢詩	a: 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 中国の詩・日本の詩	b[読]: 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。			
3 学 期	近代小説(三)	a: 文章の意味は、文脈の中での的確に捉えている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 山月記	b[読]: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c: 人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。			

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※令和4年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( ) 時間
- ・書くこと … ( 10 ) 時間
- ・読むこと … ( 65 ) 時間



令和5年度 国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「精選 論理国語」(数研出版)						
副教材等	ダブルクリア(尚文出版), リード現代文(啓隆社), 語彙ノート(桐原書店)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。</li> <li>・ICT機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。</li> <li>・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。</li> <li>・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。</li> <li>・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的, 批判的に考える力を伸ばすとともに, 創造的に考える力を養い, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに, 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め, 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において, 論理的, 批判的に考える力を伸ばすとともに, 創造的に考える力を養い, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり, 思いや考えを広げたり深めたりしながら, 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに, 進んで読書に親しみ, 言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	学ぶということ	a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]: 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 学問の発見				
	具体と抽象	a: 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]: 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「具体」から「抽象」へ				
	具体と抽象	a: 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]: 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 手の変幻				
	考えの表出	a: 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]: 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c: 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「手」の言葉				
具体と抽象	a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]: 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート	
[教材] 「内的成長」社会へ					

※令和4年度以降入学生用

	表現編 I	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:調査内容の整理とともに課題を粘り強く検討し、報告書の形式に沿って調査結果を明確に示そうとしている。	ワークシート	レポート	ワークシート レポート
	[教材] 報告書を書く				
2 学 期	普遍的な言葉	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 国境を越える言葉				
	探求の扉一比べ読み一	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	[教材] ニュースとコミュニケーション				
	近代と現代の視点	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] <近代>の入口と出口の間				
	考えの表出	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「安楽」への全体主義				

※令和4年度以降入学生用

	情報と社会	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 弱いつながら				
	情報と社会	a:推論の仕方について理解を深め使っている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	探求の扉一比べ読みー	a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「空気」と「世間」・「世間」とは何か				
3 学期	思考の枠組み	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読]:関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 野生の「クジラ」と人間の「鯨」				
	思考の枠組み	a:推論の仕方について理解を深め使っている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「である」と「すること」				

※令和4年度以降入学生用

<p>考えの表出</p>	<p>a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p>	<p>ワークシート</p>	<p>ワークシート</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>
<p>[教材] 胆力について</p>	<p>b[書]:立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。</p>			

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( ) 時間
- ・書くこと … ( 2 4 ) 時間
- ・読むこと … ( 3 2 ) 時間

学校番号	404
------	-----

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「文学国語」(数研出版)						
副教材等	国語便覧(数研出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出るうえで必要となる国語力を向上させましょう。</li> <li>・ICT機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。</li> <li>・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。</li> <li>・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。</li> <li>・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</li> <li>・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>
---

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	平成の小説	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿ってスピーチをしようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート スピーチ
	[教材]鍋セット				
	昭和後期の小説	a:文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:冒頭と英文と最後の一文が作品全体に対して持つ意味合いを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート グループワーク
	[教材]三月の風				
	昭和初期の小説	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:「僕」が「水仙の絵」を引き裂いた理由を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート レポート
	[教材]水仙				
昭和初期の小説	a:文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:粘り強く『水仙』と『忠直卿行状記』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート レポート	
[教材]探究の扉 忠直卿行状記					
2	大正の小説	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート グループワーク
	[教材]こころ				
	詩歌	a:心情の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:作者の心情を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート レポート
	[教材]表札				

※令和4年度以降入学生用

2	詩歌	<p>a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>c:作品の内容を踏まえ、学習課題に沿って作文を書こうとしている。</p>	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート レポート
	[教材]発車				
3	文学的文章の創作	<p>a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>b[書]:「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>c:『物語のおわり』の中で『空の彼方』という小説がどのような機能を持っているかを踏まえ、学習課題に沿って『空の彼方』の結末を創作しようとしている。</p>	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート 創作活動
	[教材]物語のおわり				

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( ) 時間
- ・書くこと … ( 60 ) 時間
- ・読むこと … ( 20 ) 時間



学校番号	404
------	-----

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	(学)古典演習	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	「アシスト古典文法」用言編・助動詞編(啓隆社) 新明説総合古典文法(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・用言の活用や助動詞の種類、敬語表現など、古文読解のために必要となる基本的な古典文法について学び、それらを用いて「自力で考え、問題を解く力」を養いましょう。</li> <li>・小テストのための事前学習や授業内容の予習復習には、自ら進んで取り組んでください。受け身ではなく、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が大切です。</li> <li>・定期考査には、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深める。</li> <li>・習得した文法事項や文語のきまりを用いて応用的な問題を解き、論理的に考える力を伸ばす。</li> <li>・古文を読む力を進んで高めるとともに、我が国の伝統と文化についての理解や関心を深めようとする。</li> </ul>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した文法事項や文語のきまりを用いて応用的な問題を解き、論理的に考える力を伸ばしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文を読む力を進んで高めるとともに、我が国の伝統と文化についての理解や関心を深めようとしている。</li> </ul>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一 学 期	活用の基本	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 用言編」				
	四段活用	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 用言編」				
	上二段・下二段活用	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 用言編」				
	「ず」をつけて見分ける動詞	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 発表 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 用言編」				
	上一段・下一段活用	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 用言編」				
変格活用	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト	
[教材] 「アシスト古典文法 用言編」					

※令和4年度以降入学生用

	<p>応用編・動詞のまとめ</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 用言編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 発表 小テスト</p>
	<p>形容詞・形容動詞</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 用言編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 小テスト</p>
	<p>用言のまとめ</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 用言編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 発表 小テスト</p>
一 学 期	<p>助動詞の基本</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 小テスト</p>
	<p>自発・可能・受身・尊敬</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 小テスト</p>
	<p>使役・尊敬</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 小テスト</p>
	<p>過去・完了</p> <p>[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」</p>	<p>a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査</p>	<p>ワーク提出 課題提出 小テスト</p>

※令和4年度以降入学生用

	推量・反実仮想	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」				
	推定・伝聞・断定	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」				
	打消・願望・比況・音便	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」				
	助動詞の識別・まとめ	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 発表 小テスト
	[教材] 「アシスト古典文法 助動詞編」				
三 学 期	敬語	a: 古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	[教材] 「新明説総合古典文法」				

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・ 話すこと／聞くこと … ( ) 時間
- ・ 書くこと … ( ) 時間
- ・ 読むこと … ( 5 6 ) 時間

## 令和5年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校改訂版「現代文B」(第一学習社)						
副教材等	「語彙力をつける入試漢字2600」(筑摩書房) 最新国語便覧(浜島書店) 論読 現代文3(浜島書店)						

## 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・様々な文章に触れることで、大学入試に対応出来る読解力、論理的思考力を学びます。
- ・人間を深く洞察する小説に触れ、豊かな人間性を養う学習を行います。
- ・ICTやディスカッションといった様々な活動を取り入れた授業を行います。
- ・定期考査や受験に向けて、計画的に学習に取り組みましょう。

## 2. 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きたったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業態度	発問評価	・記述の確認及び分析(ノート、ワーク、ワークシート、原稿用紙等)	・行動の観察 ・記述の確認及び分析(ノート、ワーク、ワークシート等) 定期考査	定期考査 学習課題集の提出
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	写真の持つ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の読み方に習熟する。</li> <li>・「ジャーナリズムに何ができるのか」という問いに対する筆者の考えを理解する。</li> <li>・写真というメディアの持つ特徴について調べ、まとめる。</li> </ul>	◎	○	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている</li> <li>b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。</li> <li>c: 適切な表現で文章を書いている。</li> <li>d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。</li> <li>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の確認及び分析</li> <li>・学習課題集の提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
1	未来世代への責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の読み方に習熟する。</li> <li>・環境問題について経済学的な側面から理解し、その解決方法について考えを深める。</li> </ul>	◎	○		◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている</li> <li>b: 自分の考えを説明し、相手の話に耳を傾けている。</li> <li>c: 適切な表現で文章を書いている。</li> <li>d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。</li> <li>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解し文章を書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の確認及び分析</li> <li>・学習課題集の提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
1	タオル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説の基本的な読み方を習得する。</li> <li>・場面の展開と、登場人物の心情について正しく読み取る。</li> </ul>	◎	○	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている</li> <li>b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。</li> <li>c: 適切な表現で文章を書いている。</li> <li>d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。</li> <li>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の確認及び分析</li> <li>・学習課題集の提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
1	いのちのかたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の読み方に習熟する。</li> <li>・「いのち」という言葉に表れている日本人の生命観について理解する。</li> <li>・「いのち」と「生命」の違いについて考え、話し合う。</li> </ul>	◎	○	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている</li> <li>b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。</li> <li>c: 適切な表現で文章を書いている。</li> <li>d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。</li> <li>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の確認及び分析</li> <li>・学習課題集の提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
2	舞姫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度の長さのある小説の読み方に習熟する。</li> <li>・文語体の小説を読むことに慣れる。</li> <li>・近代の代表的な小説を読み、時代や人間のあり方について理解を深める。</li> <li>・文語体の小説のおもしろさを積極的に味わう。</li> <li>・登場人物を自分に引きつけて理解する。</li> </ul>	◎	○	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている</li> <li>b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。</li> <li>c: 適切な表現で文章を書いている。</li> <li>d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。</li> <li>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の確認及び分析</li> <li>・学習課題集の提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2	目に見える制度と見えない制度	・評論の読み方に習熟する。 ・人間を取り巻く制度に対する関心と問題意識を深める。	◎	○	○	◎	◎	a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査
3	身体の個性	・評論の読み方に習熟する。 ・人間のあり方はどのようなものか、また、他者とのかかわりはどうあるべきかについて、考えを深める。 ・作品で述べられていることをもとに、自らのあり方を振り返る。	◎		○	◎	◎	a: 文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査

※ 表中の観点について

a: 関心・意欲・態 b: 話す・聞く能力  
c: 書く能力 d: 読む能力

e: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

## 令和5年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「精選古典B 新版」(東京書籍)						
副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 読解をたいせつにする 体系古典文法 九訂版(数研出版) 三訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法学習ノート(数研出版)						

## 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・3年生では、1、2年生で学んだことを発展、応用し、今までより難易度の高い内容を学習します。
- ・既に学んだ文法、作品に関する知識を復習し、確実に定着させておきましょう。
- ・意欲を持って授業に臨み、予習・復習を行なうこと。自分の理解度や苦手な点を知り、対策することが大切です。
- ・定期考査や受験に向けて、計画的に学習に取り組みましょう。

## 2. 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 読む能力	c: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出	・発問評価 ・学習課題の提出	・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまともりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			



4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	「十訓抄」 成方といふ笛吹き	○笛をめぐる俊綱、成方のそれぞれの策を読み取る。 ○説話編者が中国の挿話を引用した理由を考える。 ○説話の構成や内容について考えをまとめる。	○	◎	◎	a:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b:構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c:重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
1	赤壁之戦	○中国の史話を読み、歴史書の面白さを味わい、漢文に親しむ。 ○正確に音読し、書き下し文にする。 ○語句や句法を理解し、的確に現代語訳する。 ○文脈に即して、内容や人物について理解する。	○	◎	○	a:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b:構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c:重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2	「紫式部日記」 女郎花うきたる世	○第一段落の内容を把握する。 ○和歌に表れる詠み手の心情を理解する。 ○頼通の人物評を正しく理解する。 ○作者の心的傾向について考える。 ○作者特有の心理状態を把握する。 ○作者の思索的、内省的傾向を捉える。 ○作者の発想に対してさまざまな角度から検討する。	○	◎		a:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b:構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c:重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2	「源氏物語」 夜深き鶏の声 萩の上露	○話の概略を理解する。 ○登場人物の心情について、理解を深める。 ○二つの異なる場面の結び付きを理解する。 ○登場人物の心情を深く読み味わう。 ○敬語に注意して、本文を正確に理解する。 ○三者の立場の違いを捉える。 ○死の表現について理解する。	○	◎	◎	a:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b:構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c:重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2 3	「白楽天」 長恨歌	○「長恨歌」の時代背景を理解する。 ○作者白楽天について理解する。 ○繰り返し朗読してあらすじをとらえる。 ○楊貴妃の美しさと、周囲の人々の反応をまとめる。 ○楊貴妃死後の漢皇(玄宗)の落胆の様子を理解する。 ○道士による楊貴妃の靈魂の探索の表現を読み取る。 ○この詩の主題を考える。	○	◎	◎	a:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b:構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c:重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:読む能力 c:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	国語	科目	(学)現代文演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	「現代文解放のテクニック3(応用編)改訂版」(啓隆社) 「現代文グレートラーニング40レベル3」(尚文出版)						

## 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

授業後に復習をする習慣を身に付け、長文読解や選択形式の問題に慣れるよう心がける。授業では、時間内に問題を解くことや、読解テクニックを意識して演習にあたること。わからなかった箇所・理解しづかった箇所の理解をし、解説の際に知識や問題の解き方の再確認をすることによって理解をさらに深める。本文をしっかりと読み、考える必要がある。答えを聞くだけになってしまえば理解は深まらない。また、入試で必要な慣用句・語彙の意味と活用を定着すること。

## 2. 学習の到達目標

問題演習に関して、間違えたり理解できなかった箇所について、その理由を分析し、克服できるようになること。また、時間内で回答するペースの感覚を身に付けること。発展的な慣用句・語彙について、知識を身につけ、覚えておくこと。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	文章を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	問題の意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、解答している。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり慣用句・漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業態度 発問に対する反応 学習課題の提出	発問評価	演習課題 定期考査 学習課題集の提出	演習課題 定期考査 学習課題の提出	定期考査 学習課題集の提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	評論文	一定の長さの評論文を読む。語彙、内容を理解し、的確に読み取る。指示語の理解、文章の起承転結を理解する。	○	○	◎	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
1	小説 国語基礎	登場人物の心理と行動、結果を意識し、内容を把握する。また、適切な形式で回答をするように意識する。漢字および語彙の知識を定着する。	○	○	◎	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
2	随筆 国語基礎	随筆の趣旨を意識し、実体験の段落と考察の段落の見分けを意識し、内容を把握を行う。また、適切な形式で回答をするように意識する。漢字および語彙の学習と復習を行う。	○	○	◎	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
2	小説 評論文 国語基礎	評論文と小説の違いを意識し、内容を把握、回答を行う。漢字および語彙の知識を定着する。	○	○	◎	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
3	小説 評論 随筆	評論文、小説、随筆の違いを意識し、内容を把握、回答を行う。	○	○	◎	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力  
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	国語	科目	(学)古典演習Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	3ステップオリジナル新成古文(尚文出版) マドンナ古文単語230(学研)						

## 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

古典演習Ⅰで学んだ基本的な古文単語・文法の知識を使って問題を解き、実践力を高めることを目的としている。そのため、授業後は必ず復習し、間違えた箇所やわからなかった箇所は必ず確認すること。

## 2. 学習の到達目標

- (1)さまざまなジャンルの古文に触れ、読解力を高め、思考力・判断力を伸ばす。  
 (2)助動詞と助詞を中心とした古文を読むための基礎知識を習熟する。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 読む能力	c: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	古典を読んで、内容または思想や感情を構成や展開的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	授業態度 発問に対する反応 学習課題の提出	発問評価	定期考査 学習課題集の提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	動詞・形容詞	説話・物語の読解問題を解きながら動詞の復習を行い、知識を定着させる。また、文章読解の基礎力を身につける。	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。	授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
1	助動詞	随筆・日記・説話の読解問題を解きながら形容詞・形容動詞の復習を行い、知識を定着させる。また、文章読解の基礎力を身につける。	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。	授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
2	助詞・敬語・識別	日記・説話・紀行文の読解問題演習を行い、助動詞・助詞の知識を定着させる。また、応用レベルの文法問題、読解問題を解けるようにする。	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。	授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
2	実践問題	応用問題に取り組み、文法問題、読解問題を解き、実践力を身につける。	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。	授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
3	読解・発展問題	古文に対する理解を深めるため、様々なジャンルの古文に触れる。日本の伝統文化の継承者としての意識を育てる。	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。	授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 読む能力  
c: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	国語	科目	(学)国語演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	国語必携 ライトパーフェクト演習(尚文出版)						

## 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

集中して話を聞く姿勢を身に着け、語彙や選択形式の問題に慣れるよう心がける。  
 授業では、時間内に問題を解くことや、読解テクニックを意識して演習にあたること。  
 基礎的や単語の意味と活用を定着させること。  
 また、「話す・聞く」「書く」ことをに慣れ、実践的な課題に取り組む。

## 2. 学習の到達目標

間違えたり理解できなかった箇所について、克服できるように繰り返し反復練習すること。  
 また、時間内で解答するペースの感覚を身に着けること。  
 一般知識を身につけ、覚えておくこと。  
 「話す・聞く」「書く」に関する課題に取り組み、実践的な力を身に着けること。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	文章を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	問題の意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、解答している。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、古典単語・漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業態度 発問に対する反応 学習課題の提出 発表	演習課題 学習課題の提出 発表	演習課題 学習課題の提出	演習課題 定期考査 学習課題の提出	定期考査 学習課題集の提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	テキスト 演習	語彙、ことわざ、慣用句などの知識を理解し、適切に解答できるようにする。 短い文章を正確に読み、的確に解答できるようにする。	○			○	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
1	作文、志 望理由を 書く	原稿用紙の使い方と表記について学び、適切な文章を書けるようにする。 進学や就職を見据え、自分の将来を考えて書くようにする。 自分の良さに気づき、アピールできるようにする。	○		◎			a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
2	テキスト 演習	語彙、ことわざ、慣用句などの知識を理解し、適切に解答できるようにする。 短い文章を正確に読み、的確に解答できるようにする。	○			○	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・定期考査 ・学習課題の提出
2	ビブリオ バトル ディバ ート	お気に入りの作品をお互いにプレゼンテーションしあい、適切な話し方や聞き方を学ぶ。 ある題に対して肯定・否定の立場で意見を言い合い、聴者に勝者を判定してもらう。チームで共同作業をし、意見を練り上げる力を養う。	○	◎	○		○	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・学習課題の提出 ・発表
3	テキスト 演習	語彙、ことわざ、慣用句などの知識を理解し、適切に解答できるようにする。 短い文章を正確に読み、的確に解答できるようにする。	○			○	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・演習課題 ・学習課題の提出

※ 表中の観点について     a: 関心・意欲・態度     b: 話す・聞く能力     c: 書く能力  
    d: 読む能力                           e: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。